

## 緊急時対応訓練

### 安全のための訓練

#### ■総合事故復旧訓練

列車事故など不測の事態を常に想定し、万全の体制を整備することが、鉄道を安心してご利用いただくために必要不可欠です。そのために当社では緊急時における対応力の強化を目的とした訓練を定期的に行っています。平成18年12月、「踏切から侵入した自動車が線路上を走行し列車と衝突、列車が脱線した」という事故を想定した「総合事故復旧訓練」を実施しました。警察署や消防署の協力のもと合計180名が参加し、人命救助・避難誘導・二次災害防止・正確な情報伝達がスムーズかつ確実に行えるよう、対応能力の強化を図りました。



総合事故復旧訓練

#### ■脱線復旧訓練

車両部門では、不測の事故等で車両が脱線した場合に備え、脱線復旧訓練を実施しています。平成18年度は年間3回(7月・12月・3月※)実施しました。また地下線等の狭い場所でも対応可能な新型の脱線復旧機材を平成18年度より導入しています。



※平成18年12月は、総合事故復旧訓練を兼ねています。

脱線復旧訓練

#### ■地下線内火災想定訓練

地下線走行中に車両から発煙したことを想定し、「地下線内火災想定訓練」を運転士・車掌・駅係員・操車助役を対象に実施しています。最終列車発車後、訓練のために実際に地下線内で列車を走行させ、お客さまの救出、避難誘導、消火作業が迅速・的確に行えるよう、緊迫した訓練を行っています。冷静な判断力、作業員の連携を養い、万々に備えています。

